

新保 晴彦 (札幌市青少年科学館)

当館の地域性を考慮した展示テーマの1つに雪氷関係があり、そこでは人工降雪装置、低温展示室、同工作室などの施設を利用して展示活動を行なっている。これらの機能を十分に生かして、普段、何気なく見過ごしている雪や氷について、今少し科学的な眼で眺めてもらえるよう、開館以来、例年、本学会支部の協力を得てこの観察会を行なってきたところである。

この観察会の内容は

- (1) 雪の結晶の観察とレプリカの作り方
- (2) 氷の薄片作りと偏光板を使用する観察
- (3) 積雪断面の観察

の3つで、参加者は数名～10名程度の班に分かれ、これら3つを順に巡って行く。今回の参加者数は75名で、小学校 5,6年が大半であり、中学生・一般が若干名。また男女比はおよそ 6:4であった。以下は参加者の感想の幾例かである。

「とてもおもしろかった。氷のがとってもきれいでおもしろかった。家に帰っても今日習ったことをやってみたい」(小・女)

「学校で先生に教えてもらい結晶をとったことがあったので、もっと詳しく知ろうと思い、ここに来てみました。今まで知らなかったことも色々わかったので良かったと思います。自由研究もできれば、これをしたいと思っていました」(小・女)

「今度、雪の結晶の顕微鏡写真を取る会というのを、やってみてはどうでしょうか?とても良い体験をさせていただき、どうもありがとうございました」(中・男)

「この観察会をやってみてとてもためになったと思います。雪の結晶や積雪断面のことは知っていました。でも氷の薄片のことはよくわからなかったけれど、今日わかって、とても良かったです」(小・女)

「雪の結晶の保存方法を知り、結晶の種類を子供といっしょにやってみようと思います。今日の機会を得て、本当に良かったと思います」(一般・女)

「今までは、本の知識のみで、興味がわいてこなかったが、面白いものだと思いました。体験のすばらしさを味わわせて頂き、ありがとうございました。又、やってみたいです。よろしくお願いします」(一般・女)

「寒かったけどおもしろかった」(小・男)

「勉強が大きらいな私も勉強は楽しいと思いました。勉強はきらいだった。特に算数、社会、理科だった。でも理科は好きな方に入りました」(小・女)

「雪の結晶を写そうと思ったけれども、雪がとけてしまうのでこまった。薬があると言っていたけど、どこにも売っていない。でも、レプリカ液というのをもらってうれしかった。これで冬休みの自由研究ができる。うれしい」(小・男)

「私は、雪と氷と雪のつもり方を教えてもらって、すぐくためになったと思います。やっぱり来てみて良かった。ちょっと寒かったけど、おもしろかった。雪の結晶を見たけれど、すぐくきれいだなと思った。雪のつもり方は、はっきり見えるので、驚いた。氷は、氷の結晶があるということがわかった。南極の氷を見分けることができたので、とても良かった」(小・女)

「すぐくおもしろかった。今までは、少ししか知らなかったことが、たくさんわかった。氷の結晶がすぐくきれいだった。先生方、ご苦労さんでした」(小・女)

いずれにしても、参加者自身それぞれに、何か得るところがあれば、それで我々の目的は略達せられたと考えている。

今後共、本学会支部、会員の方々のご協力をお願い致します。

積雪断面の講習風景

